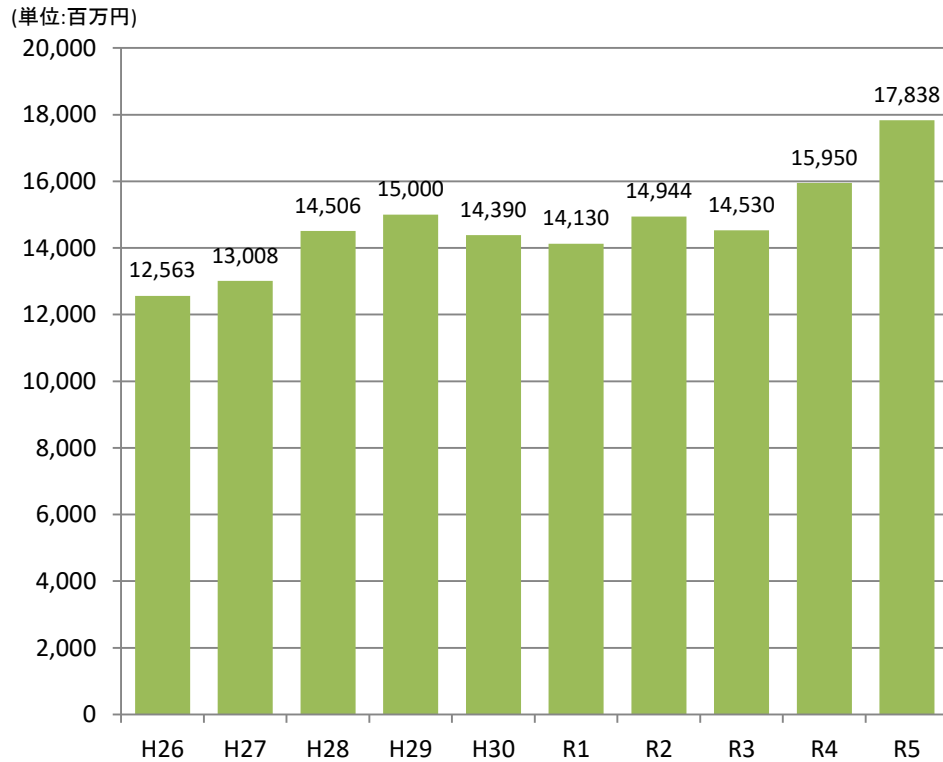


令和5年度予算案のポイント

一般会計の予算規模は、**178億3,800万円**（前年度比+18.9億円[+11.8%]）
過去最大規模の予算を措置し、都市計画道路や子育て環境の整備を推進

■一般会計予算規模の推移



■会計別予算の規模

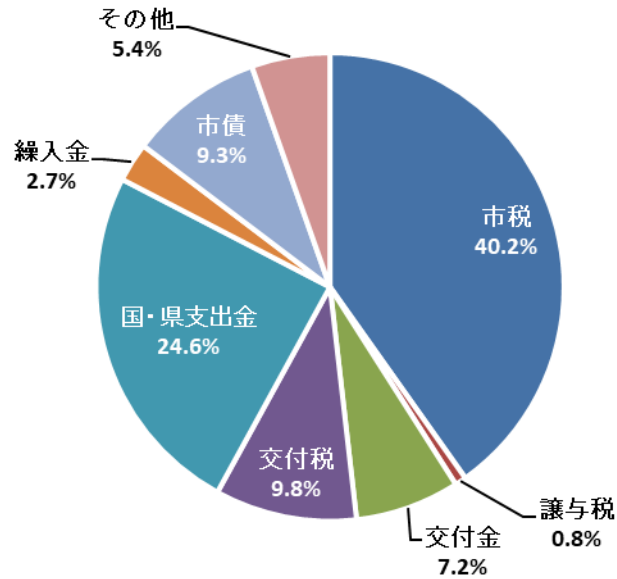
(単位:千円、%)

会計区分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
一般会計	17,838,000	15,950,000	1,888,000	11.8
特別会計	9,641,138	9,134,884	506,254	5.5
国民健康保険特別会計	4,632,573	4,542,268	90,305	2.0
後期高齢者医療特別会計	840,606	801,355	39,251	4.9
介護保険特別会計	3,880,538	3,663,234	217,304	5.9
白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計	287,421	128,027	159,394	124.5
公営企業会計 ※	4,355,188	2,969,060	1,386,128	46.7
水道事業会計	2,811,033	1,387,754	1,423,279	102.6
公共下水道事業会計	1,457,799	1,498,142	△ 40,343	△ 2.7
農業集落排水事業会計	86,356	83,164	3,192	3.8
合計	31,834,326	28,053,944	3,780,382	13.5

※ 公営企業会計予算規模:総費用-減価償却費+資本の支出

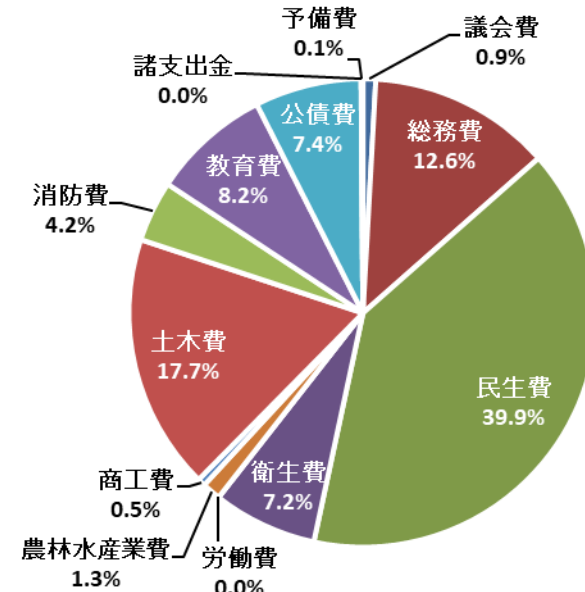
令和5年度予算案のポイント

■ 歳入の構成



- ◆ 国庫補助金の増(+7.7億円)
- ◆ 地方交付税の増(+3.5億円)
- ◆ 建設事業債の増による市債の増(+3.0億円)
- ◆ 市民税や固定資産税など市税の増(+2.1億円)
- ◆ 財産収入の増(+1.8億円)

■ 歳出の構成



- ◆ 都市計画道路白岡駅西口線道路改良事業や白岡宮代線道路改良事業など土木費の増(+10.7億円)
- ◆ 民間保育所整備推進事業や障害者自立支援給付等事業など民生費の増(+5.5億円)
- ◆ 温水プール大規模改修事業など教育費の増(+1.6億円)
- ◆ 埼玉東部消防組合負担金による消防費の増(+1.4億円)

令和5年度予算案のポイント

予算編成における 3つの基本方針

- ▶ 総合振興計画 重点取組項目の推進
- ▶ 市民の生命財産を守るための施策・事業の推進
- ▶ 行政のデジタル化の推進

3つの基本方針を踏まえ、以下の4つの分野に重点をおいた予算を編成

1 都市基盤・交通ネットワークの充実

都市計画道路の整備を推進、良好な市街地の形成、白岡駅東口駅前広場の整備を推進、医療福祉拠点の整備を推進、都市計画マスタープランの改定、新白岡地域のエリアマネジメントを推進、地域公共交通計画の策定、のりあい交通の充実

2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進

民間保育所の施設整備を支援、学童保育所の整備、子どもの居場所づくりの推進、新生児にお祝い米を贈呈、安心して出産・子育てできる環境の整備、重層的支援体制への移行を促進、男女共同参画の推進

3 防災・減災への対応、公共施設マネジメントの推進

地域防災計画の改訂、豪雨等への対策、市道・橋梁の長寿命化工事の実施、B&G海洋センターの大規模改修、学校施設の劣化度を調査、柴山沼トイレの改築、本庁舎設備等の更新工事の実施

4 新たな行政課題への対応(DXの推進・脱炭素の取組)

行政手続きのオンライン化の推進、自治体情報システムの標準化・共通化、ICTの活用による業務の効率化、次世代自動車等の購入者を支援、脱炭素化に係る講演会の開催、公用車に電気自動車を導入

令和5年度予算案のポイント

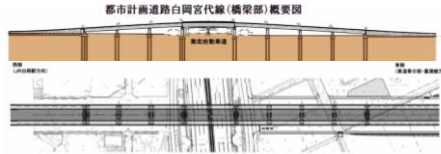
1 都市基盤・交通ネットワークの充実

■ 都市計画道路の整備を推進

14億5,668万円

◆ 都市計画道路白岡宮代線 6億2,555万円

東北自動車道を横断するオーバブリッジの整備を推進
令和5年秋頃橋桁架設予定



◆ 都市計画道路白岡駅西口線 8億3,113万円

県道さいたま栗橋線から白岡駅西口へのアクセス道路として、駅前広場と一体的に整備を推進
白岡駅西口のエレベーター設置のための実施設計も合わせて実施

■ 良好な市街地の形成

2億8,742万円

地区内の街路築造工事や物件の移転を実施し、土地区画整理事業を推進

【白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計】

新 白岡駅東口駅前広場の整備を推進

1,140万円

都市計画道路白岡駅東口線の接続に向けて白岡駅東口駅前広場の基本設計、現況測量を実施

■ 医療福祉拠点の整備を推進

1,381万円

医療福祉拠点整備の実現及び周辺道路の交通量を分散させるための市道新設(拡幅)整備に向けた用地買収を実施

新 都市計画マスタープランの改定

650万円

社会経済状況の変化などに対応するため、20年後の将来を見据えた改定を実施

新 新白岡地域のエリアマネジメントを推進

510万円

住民等が主体となり新白岡駅周辺地域の賑わいを創出する公共空間の活用などの取組を支援

新 地域公共交通計画の策定

1,000万円

公共交通のマスタープランとなる地域公共交通計画を策定

■ のりあい交通の充実

2,987万円

運行体制の充実及び利便性の向上を図るための取組を実施

令和5年度予算案のポイント

2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進

■ 新 民間保育所の施設整備を支援

2億3,650万円

社会福祉法人が旧庁舎跡地に設置する令和6年4月開設予定の認可保育所(定員90人)及び病児保育施設の施設整備に対し助成

■ 新 学童保育所の整備

2,818万円

待機児童の解消と保育環境の向上を図るため、(仮称)東第二児童クラブB棟を整備

■ 子どもの居場所づくりの推進

160万円

菁莪小学校区、大山小学校区で開催の「放課後子ども教室」の活動日数を拡大

■ 新 新生児にお祝い米を贈呈

305万円

市民の出産を祝福するとともに、市内産の農作物に関心をもってもらうことを目的に、新生児が誕生した世帯に特別栽培米15kgを支給



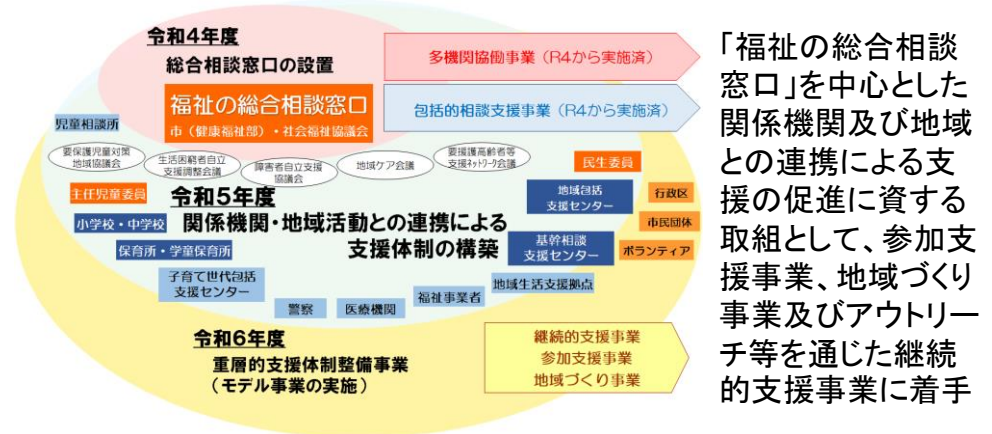
■ 新 安心して出産・子育てできる環境の整備

3,661万円

伴走型相談支援と経済的支援を行う出産・子育て応援事業を実施

■ 重層的支援体制への移行を促進

2,250万円



「福祉の総合相談窓口」を中心とした関係機関及び地域との連携による支援の促進に資する取組として、参加支援事業、地域づくり事業及びアウトリーチ等を通じた継続的支援事業に着手

■ 男女共同参画の推進

77万円

白岡市男女共同参画推進条例の施行に合わせ、しらおか男女共同参画推進会議を設置するなど男女共同参画を推進

令和5年度予算案のポイント

3 防災・減災への対応、公共施設マネジメントの推進

■ 新 地域防災計画の改訂

1,002 万円

国の防災基本計画及び県地域防災計画の修正、防災アセスメント調査の実施に基づく調査結果等、最新の情報を踏まえ、地域防災計画を改訂

■ 豪雨等への対策

2億1,570万円

水路等の浚渫、道路排水機能の向上を図るための道路側溝の整備を実施

- ・道水路維持管理事業 2,582万円
- ・水路施設補修事業 4,753万円
- ・108号線外(上野田外)道路改築事業 6,068万円
- ・6184号線外(小久喜外)道路改築事業 8,167万円



■ 市道・橋梁の長寿命化工事の実施

2億1,871 万円

老朽化している市道の路面性状調査、舗装長寿命化修繕計画の作成、補修工事、5年に1度の橋梁点検及び長寿命化対策工事を実施

- ・維持補修事業 1億7,426万円
- ・橋梁長寿命化事業 4,445万円

■ 新 B&G海洋センターの大規模改修

1億2,117万円

供用開始から24年が経過した白岡市B&G海洋センターの大規模改修を実施

熱源機器(ボイラー)、ろ過装置ろ材交換、空調機更新、給排水設備更新、プール内等照明のLED化工事等

■ 学校施設の劣化度を調査

143 万円

菁莪小学校北校舎の外壁について、赤外線及び打診による劣化度調査を実施



■ 新 柴山沼トイレの改築

550万円

平成7年設置の公衆トイレを改築するため、実施設計を実施

■ 新 本庁舎設備等の更新工事の実施

1億4,191 万円

設置から30年が経過した本庁舎の中央監視装置の更新工事、付属棟屋根及び付属棟ダムウェーター(小荷物専用昇降機)改修工事等を実施

令和5年度予算案のポイント

4 新たな行政課題への対応(DXの推進・脱炭素の取組)

■ 行政手続きのオンライン化の推進

1,706万円

証明書等のスマート申請に加え、コンビニ交付サービス、かんたん窓口サービスを運用

- ・スマート申請 262万円
- ・コンビニ交付サービス 857万円
- ・かんたん窓口サービス 587万円



■ 次世代自動車等の購入者を支援

206万円

従来の創エネ・省エネ機器(住宅用太陽光発電システム、住宅用LED照明器具、定置用リチウムイオン蓄電池及びHEMS)に加え、次世代自動車等(V2H、EV及びPHEV)を購入した者への3万円を上限とする補助メニューを新設

■ 自治体情報システムの標準化・共通化

4,242万円

令和7年(2025年)度末までの基幹業務システムの標準化・共通化とガバメントクラウドへの移行を推進

■ ICTの活用による業務の効率化

782万円

◆ 庶務事務システムを導入 782万円

勤務管理等に係る職員事務作業を電子化

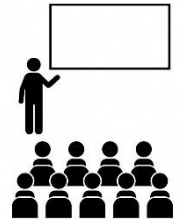
◆ 統合型校務支援システムを構築 (債務負担行為)

令和6年度の運用開始に向け小・中学校の校務の電子化を推進教職員の業務効率化と負担軽減を図るとともに学校と保護者双方のコミュニケーションを実現し、学校における保護者への対応の充実と質の向上を目指す

■ 脱炭素化に係る講演会の開催

64万円

脱炭素社会の構築に向けた市民意識の醸成に資する講演会を開催



■ 公用車に電気自動車を導入

299万円

市で集中管理する公用車に電気自動車(3台)を導入

